

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	TAG CANNON		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG 0.037	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：TAG CANNON

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：TAG

フレアーの幅 インチ

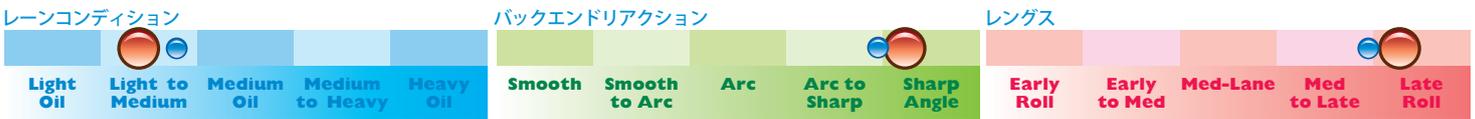
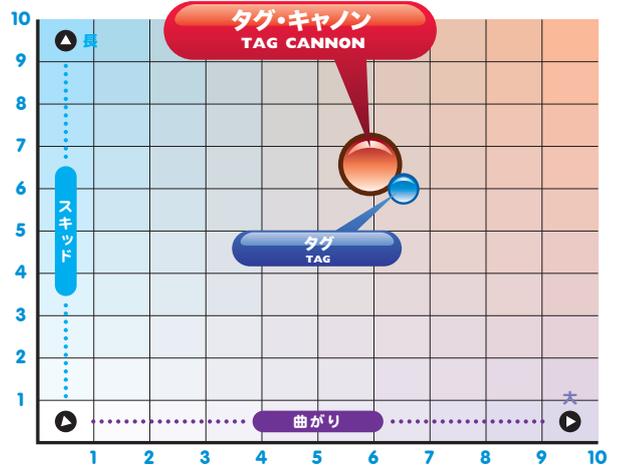
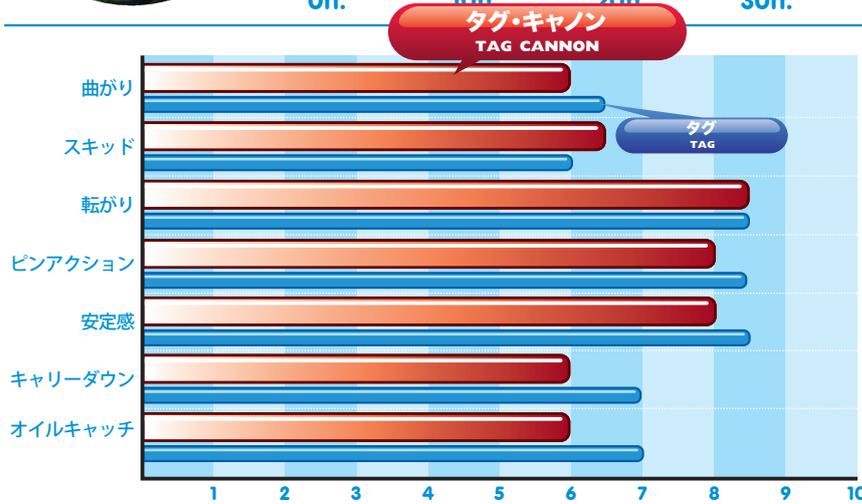
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社のMedium LIGHT領域で高いスキッド能力とBackendの動きを兼ね備え、当時多くのボウラーがGraffiti TAGで攻撃的にラインを攻めていました。今回のTAG CANNONはOCTANEやGraffiti TAG、Freestyle Rushなどに使用されたAgility Coverstockの最新バージョンのSFP(Skid-Frip Pearl)素材を採用しています。”Agility Coverstock”は歴代、どのバージョンでもスキッドを強調させ、backendに特徴を持たせるときにMOTIV社は意図的にこのCoverstockを採用してきました。今回のSFP(Skid-Frip Pearl)もかなり”直線”をイメージさせる仕上がりだと思えます。

テストングする前から鮮やかな蛍光色で”見た目”走りそうな感じは投球すると、予想を超えての走りを感じたのが第一印象です。オイルのある部分から徐々にないところへのアジャストというよりは、私の直感は大層なラインの変更を予想できるほど走りを感じました。MOTIV社で今まで多くの走り系と言われたボールが発売されましたが、その多くはスキッドのなかに”どことなくキャッチを感じる”スキッド感でした。でも今回のTAG CANNONはその想像を超えたスキッドというか、Graffiti TAGよりも大幅にオイルに敏感になっているので、どちらかというとFreestyle Rushに近いスキッド感にややBackendの動きが加わったLIGHT OILに焦点をあてた作りになっています。

注目すべきはGraffiti TAGでも使用され、Backendの動きがだせるHalogen symmetric coreとAgility SFP(Skid-Frip Pearl) Coverstockの組み合わせでしょう。Halogen Coreのエネルギーを最大保持からのBackendでのアンロードは、今までのMOTIV社では過去にないほど大胆にピンポイントで極めたスペックとも言えるでしょう。MOTIV社で走りに特化したボールを待った方は、このボールを見逃すことはできません。

特記事項

MOTIV社のMedium Light領域で、今一番爽快に走り、バックエンドが鋭いボールの発売です。現在ではOCTANE Carbonの次に使用できるボールとして、また後半の荒れたコンディション攻略にお役立てください。